Think

寺井まちなかの未来を考える ワークショップ 〜総括〜

背景・目的

能美横断道路、寺井保育園の整備を契機とし、住民主体の永続的なまちづくりを推進する ため、これまで地域のまちづくりに携わってきた住民の方々を中心とするワークショップに より、寺井まちなかのまちづくりの将来像について検討した。

1. ワークショップの概要

第1回 … 3月10日(日) 第2回 … 6月29日(土) 開催日時: 第3回 … 7月28日(日) 第4回 … 8月25日(日)

町内会、商工会、商店連盟、公民館、九谷焼、JAIST 参加者 :

延べ101名 横断道路沿線、まちづくり団体、子育てなどの各関係者 (平均 25 人)

ワークショップ形式による班別討論 手 法 :

濱 博一氏 株式会社アスリック代表取締役 コーディネーター :

(石川県地域づくり協会専任コーディネータ)

2. 各ワークショップの概要

「まちなかの魅力と悩み」、「まちなかでやってみたいこと」についての意見交換 第1回

第2回 ・参加者が考える「**理想の寺井まちなかのイメージ**」の意見出し ·「理想の寺井まちなかを**実現するために必要なまちづくり**」を提案

・提案したまちづくりの「事業の優先順位」を整理 第3回 ·「事業の必要性(どういった利用方法ができるか。)」を検討

・まちづくりの「**キャッチフレーズ**」の組み立て 第4回 ・事業に対する「行政・企業・住民の役割分担」を整理







グループ討論

3. ワークショップの検討結果

〈キャッチフレーズ案〉

"てらかつ"で見つけよう!! ~ 九谷焼と話せる充実のまち寺井 ~

〈まちづくりのビジョン(方向性)〉

ピジョン 1 子育て環境の充実と安心して歩ける環境づくり

ビジョン 2 九谷焼を活用した魅力向上と情報発信

ビジョン3 まちなかの賑わい創出と交流活性化

〈9(ナイン) ~まちづくりを実現する9つの提案~ 〉

子育て環境づくり

保育園・ふれあいプラザ周辺の環境

世代を超えた「やすらぎの場」

「かたかご広場」のリフレッシュ

「まちの宝」の発掘

「梅月庵」の復活(ギャラリー・カフェ)

核となる「にぎわいの創出」

健康・ふれあい回遊ルートの設定

「ぐるっとカフェ」開催、「ルートマップ」

図書館の利活用

安心して歩ける空間づくり

子供や高齢者にやさしい歩行空間

九谷焼で彩る「てらい」

イベント開催、各戸ギャラリー、チャレンジショップと連携

多目的ホールを中心とした集い、情報発信

商いの再生

空店舗の利活用(ワーク・イン・レジデンス)

みんなが集う「まちの駅」

"9(ナイン) ⇒ 九谷"

4. 今後の予定

- 住民主体の「(仮称) まちづくり協議会」の設立を目指す。
- ワークショップでの提案を基本とし、都市再生整備計画を策定する。
- 平成 26 年度からまちづくり事業をスタートする。

